

# 再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課／高速道路課  
 担当課長名：長谷川 朋弘 / 橋本 雅道

事業名	一般国道1号 <small>しんしやうなん</small> 新湘南バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局 中日本高速道路（株）
起終点	自： <small>かながわけんちがさきししもまちや</small> 神奈川県茅ヶ崎市下町屋 至： <small>かながわけんちがさきししもまちや</small> 神奈川県中郡大磯町大磯			延長	6.7km	
<b>事業概要</b> 一般国道1号は、東京都中央区を起点として神奈川県内を横断し、大阪府大阪市に至る延長約570kmの主要幹線道路である。新湘南バイパスは、圏央道・西湘バイパスとの接続による広域幹線道路網の形成と交通混雑の緩和を目的とした4車線の自動車専用道路である。						
S60年度事業化	S63年度都市計画決定	S63年度用地買収着手	H2年度工事着手			
全体事業費	約890億円	事業進捗率	42%	供用済延長	1.2km <small>(令和4年3月末時点)</small>	
計画交通量	25,900～35,200台/日					
費用対効果分析結果	B/C <small>(事業全体)</small> 1.3  <small>(残事業)</small> 2.5	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 362/1,548億円 事業費：310/1,478億円 維持管理費：52/71億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 913/2,012億円 走行時間短縮便益：731/1,703億円 走行費用減少便益：142/256億円 交通事故減少便益：41/52億円	基準年	令和4年	
<b>感度分析の結果</b> 【事業全体】交通量：B/C=1.2～1.4（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.3～1.3（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.4（事業期間±20%） 【残事業】交通量：B/C=2.3～2.8（交通量 ±10%） 事業費：B/C=2.3～2.8（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=2.3～2.7（事業期間±20%）						
<b>事業の効果等</b> ①広域幹線道路網の形成 ・新湘南バイパスは、自動車専用道路である首都圏中央連絡自動車道や西湘バイパスと接続し、広域幹線道路網を形成する。 ・神奈川県の道路整備計画『改訂・かながわのみちづくり計画（H28.3）』において『県土構造の骨格として重要な自動車専用道路網』として位置付けられている。 ・災害時に高規格で信頼性の高い代替路を形成し、リダンダンシーの確保が期待される。 ②救急医療サービスの充実 ・三次医療機関（藤沢市民病院救命救急センター）への搬送時間が短縮する。 ・30分圏域人口が拡大、救命率の向上が期待される。 ③観光地へのアクセス性向上 ・広域道路のルート選択の幅が広がりアクセス性が向上する。 ・観光客数の増加等の地域活性化が期待される。						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 一般国道1号新湘南バイパスは、さがみ縦貫道路や横浜湘南道路と、西湘バイパスを結ぶことで、広域幹線道路網を形成する重要な路線である。 新湘南バイパスの整備により、国道1号等の渋滞緩和や安全性の向上、沿道環境の改善等が図られるだけでなく、大規模災害時における救助活動や支援物資の緊急輸送道路としても期待されていることから、早期の効果発現を図るため、引き続き、本事業を推進されたい。						
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業の継続を了承する。						
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 事業を巡る社会経済情勢の変化がない。						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・今後、設計協議、関係事業者との調整を実施、引続き用地取得を推進。						

